

平成12年10月6日
地震調査研究推進本部
地震調査委員会

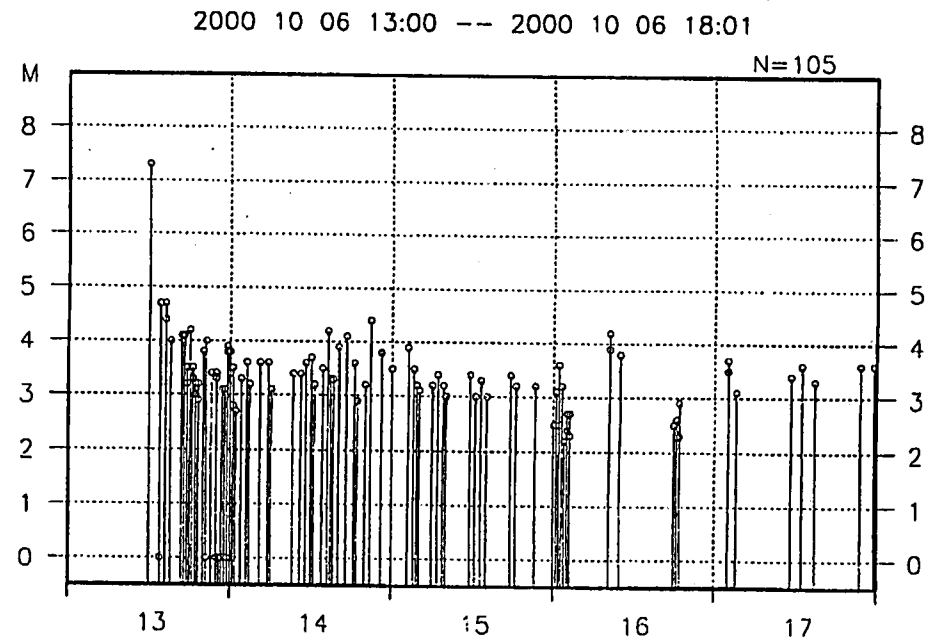
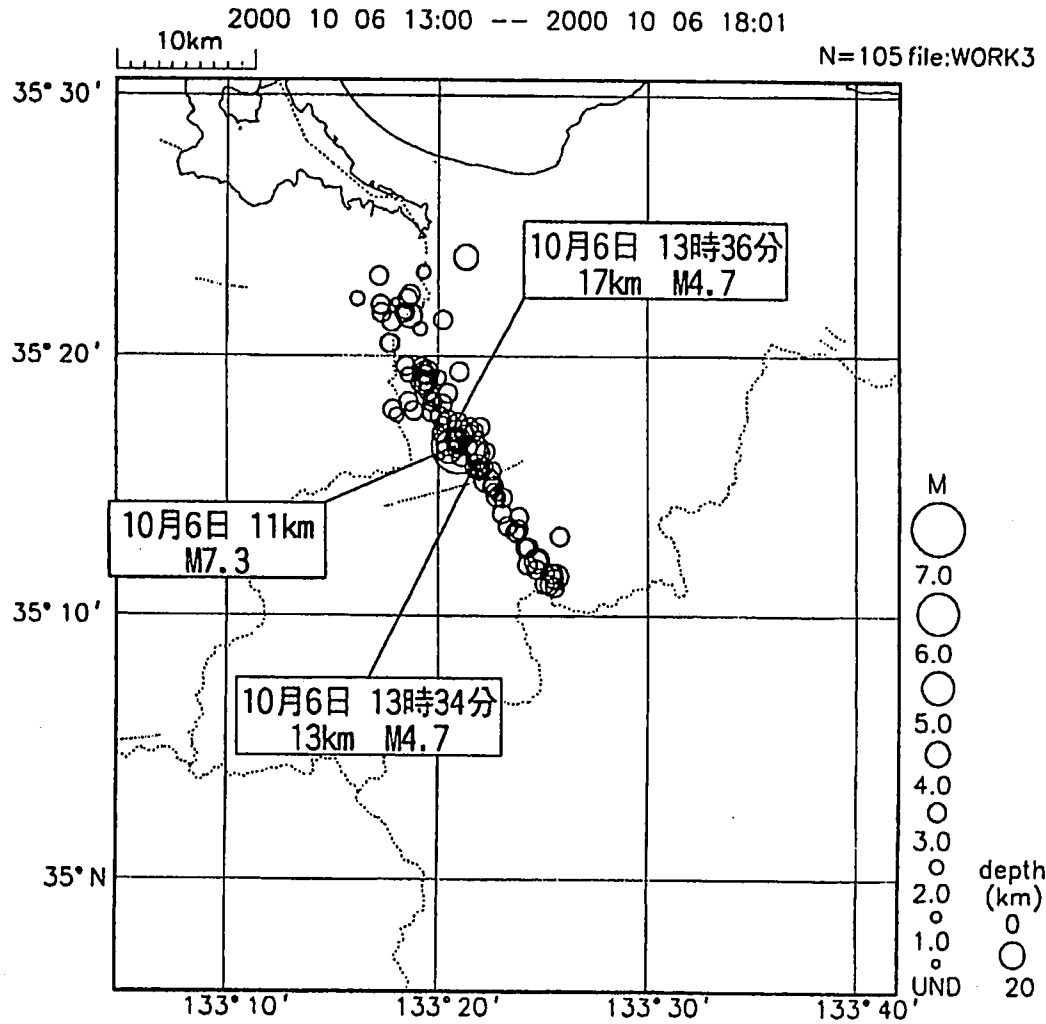
鳥取県西部の地震活動の評価

- 10月6日13時30分頃に鳥取県西部の深さ約10kmでマグニチュード(M)7.3(暫定)の地震が発生し、最大震度6強を観測した。

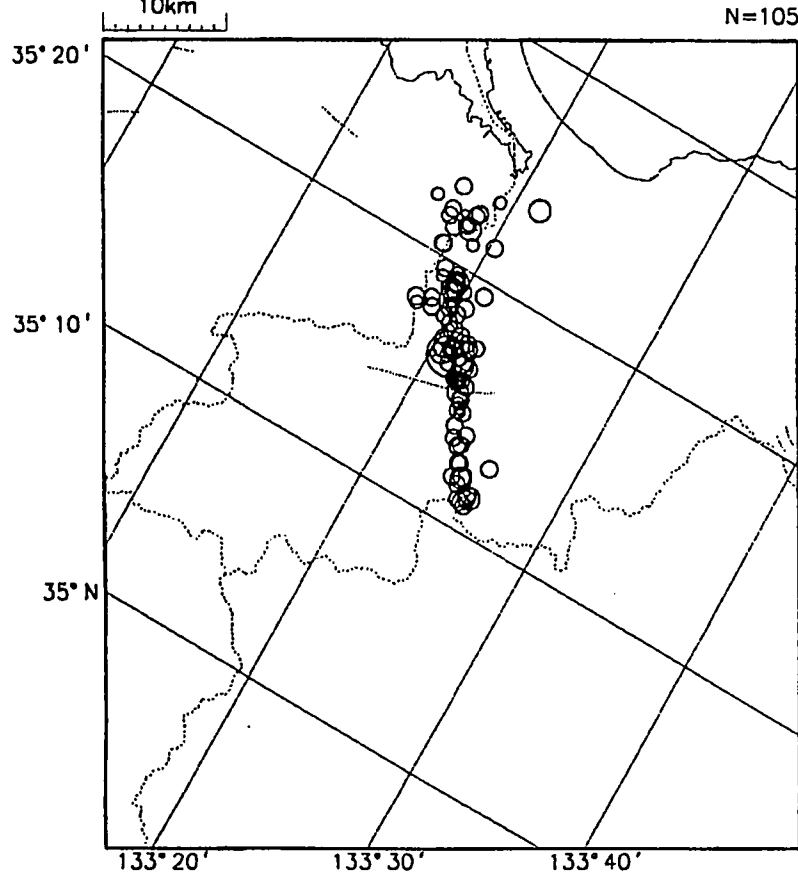
この地震の後に多数の地震が発生しているが、時間とともに少なくなっている。また、それらの震源は、18時00分現在、北北西-南南東方向に長さ約25kmに分布している。これらことから、これまでの地震活動は本震-余震型と考えられる。発震機構は、東西方向に圧力軸を持つ横ずれ型で、余震の分布から、北北西-南南東走向の震源断層が左横ずれをしたと考えられる。マグニチュードの大きさに比較して余震域の拡がりは狭い。なお、18時30分までの最大の余震は、13時34分頃と13時36分頃のM4.7(暫定)である。また、16時21分頃のM4.2(暫定)の余震で最大震度5弱を観測した。

- 最近のGPS観測の結果では、この地域は歪の程度は小さいが、ほぼ東西方向の縮み傾向を示す地域であり、今回の地震の発震機構はこれに整合している。
- 鳥取県西部地域は、M6.0以上の地震の発生は近年では知られていないが、今回の地震活動域付近では、1990年に今回と同様の方向に分布する地震活動があり、このときM5クラスの地震が3回発生している。
- 本震から24時間以内にM6.0以上の余震が発生する確率は約40%と推定される。
- なお、今回の地震活動域の近くに北西-南東方向の短い活断層が推定されている。

鳥取県西部の地震活動

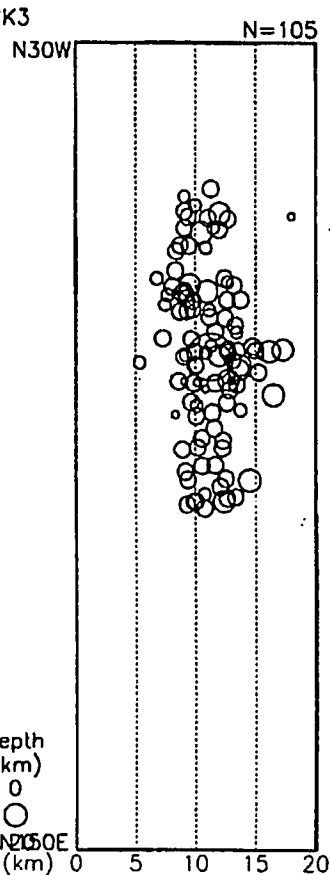


2000 10 06 13:00 -- 2000 10 06 18:01

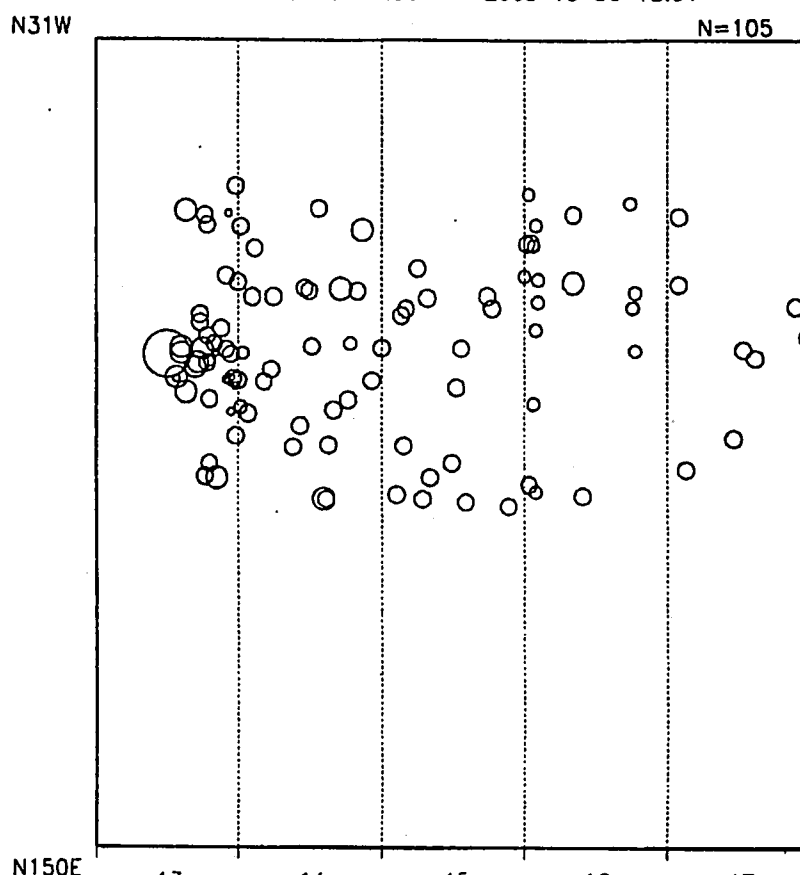


N=105 file:WORK3

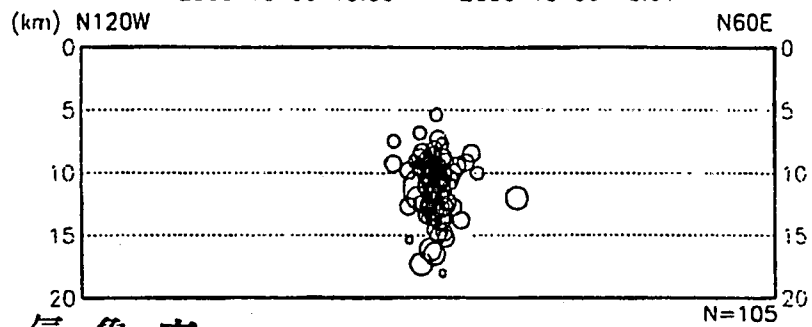
2000 10 06 13:00 -- 2000 10 06 18:01



2000 10 06 13:00 -- 2000 10 06 18:01

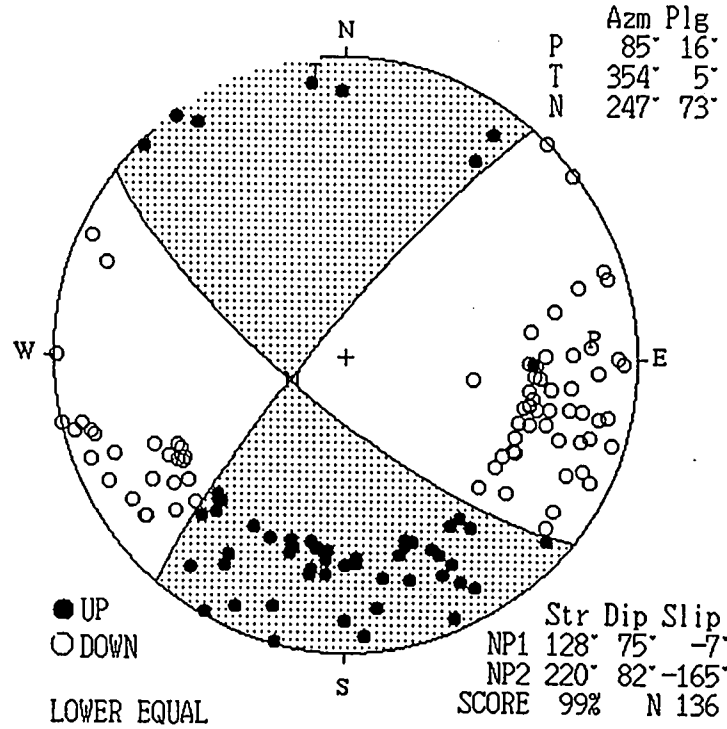


2000 10 06 13:00 -- 2000 10 06 18:01



气象中

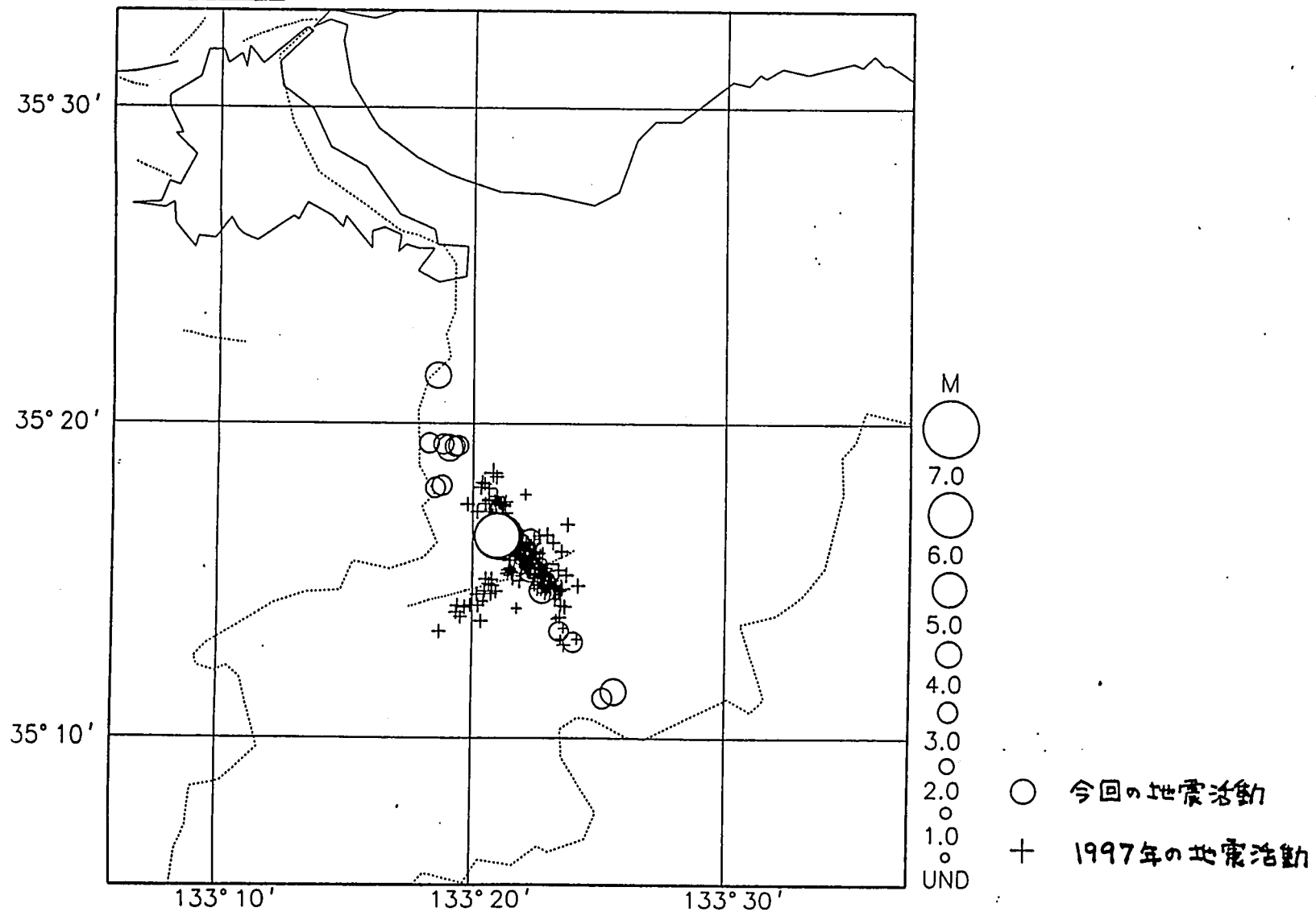
2000 10. 6 13:30:18.00



1997 07 01 00:00 -- 2000 10 06 15:18

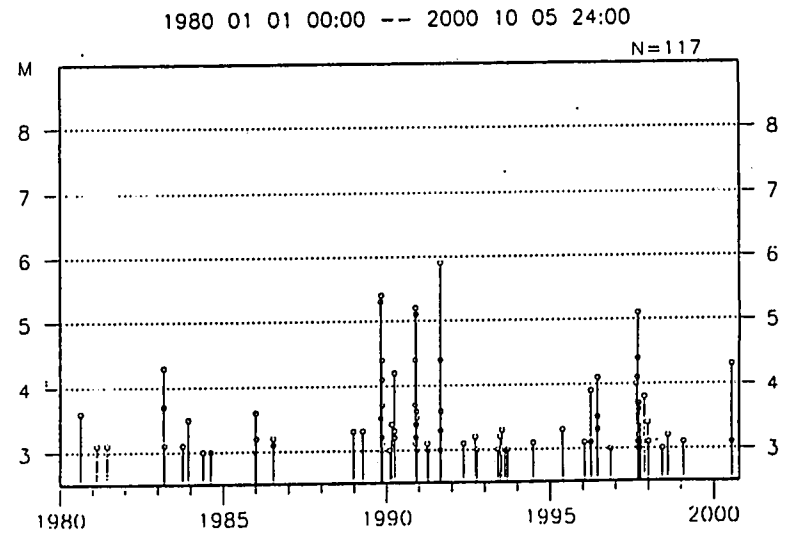
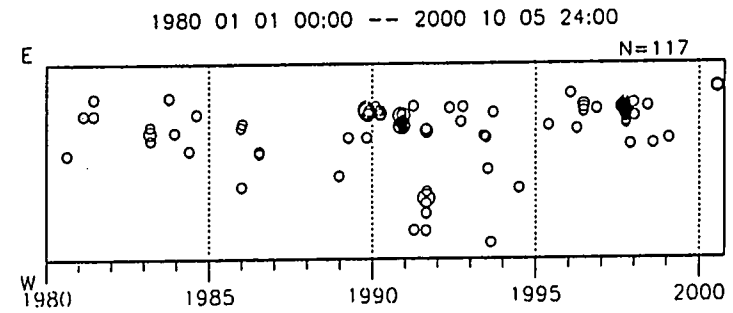
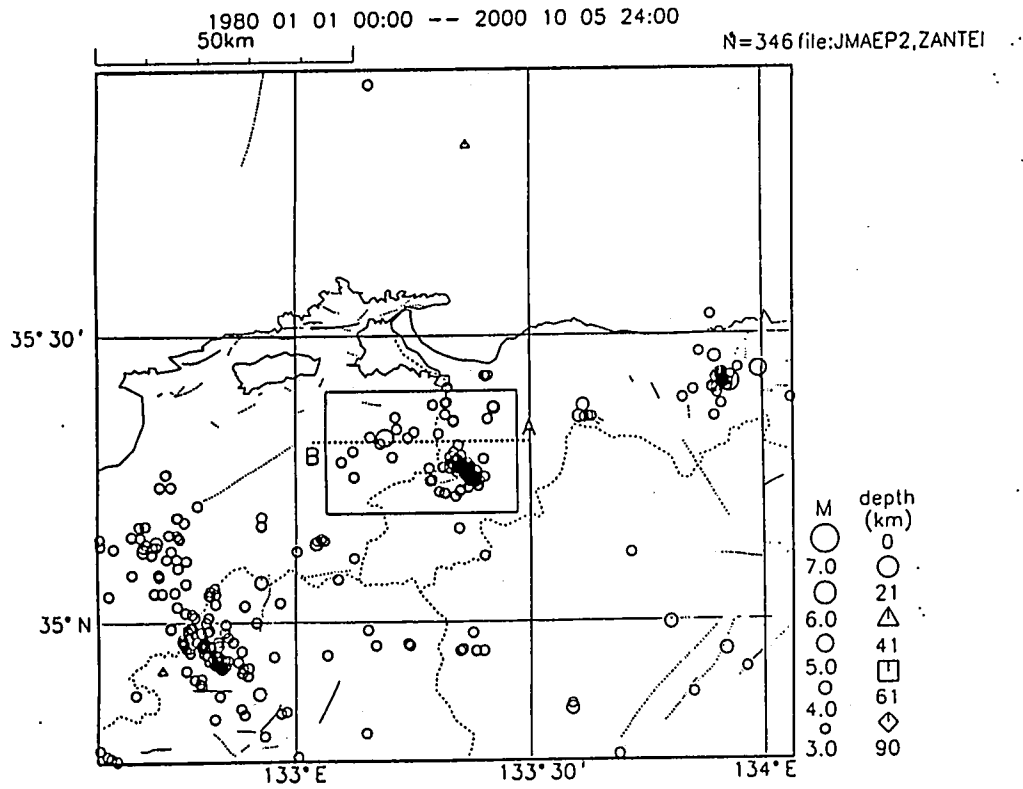
10km

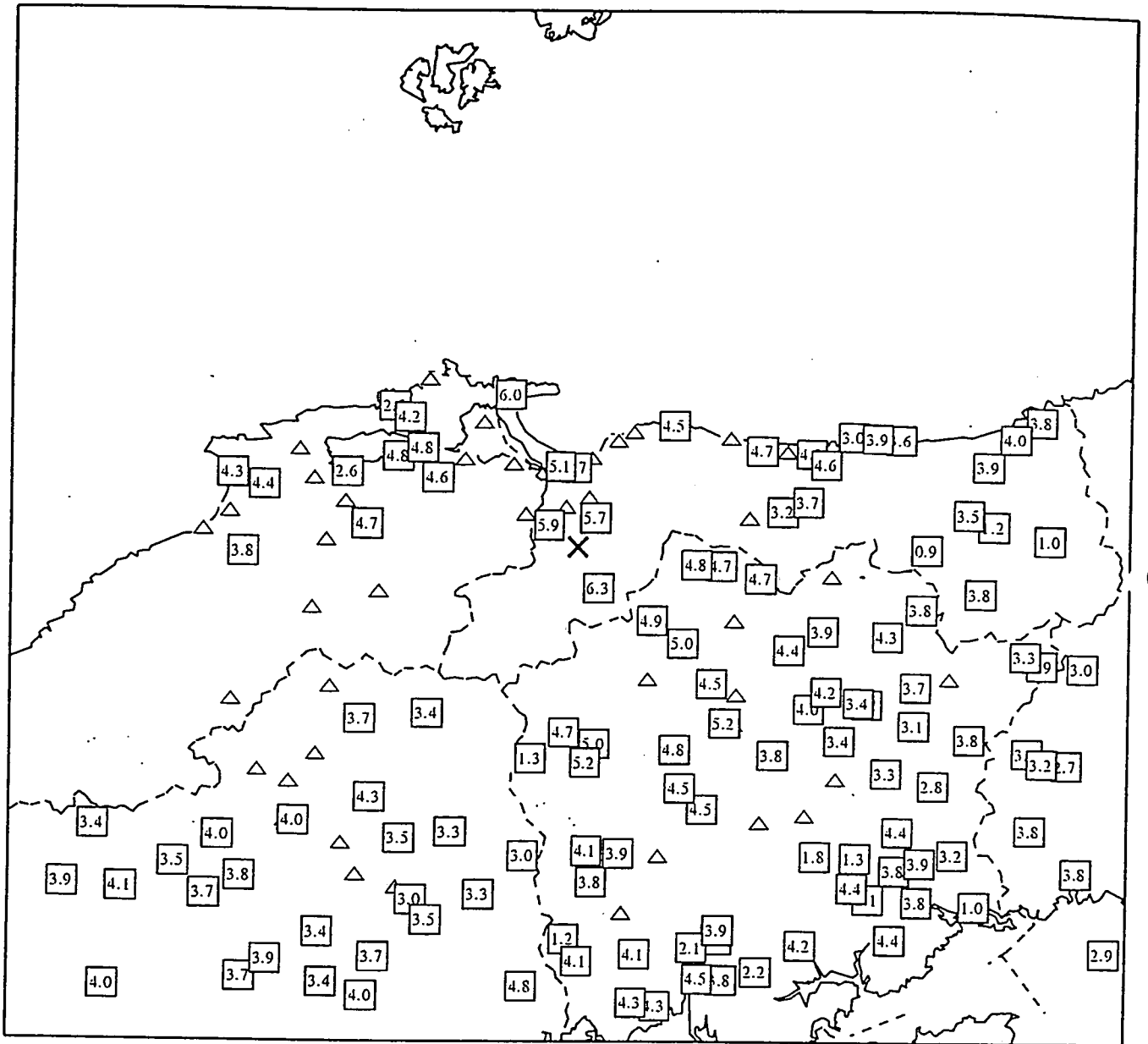
N=277 file:WORK3



鳥取県西部の地震活動

1980年1月1日～2000年10月5日 M3以上





島根一鳥取県境付近の地震活動

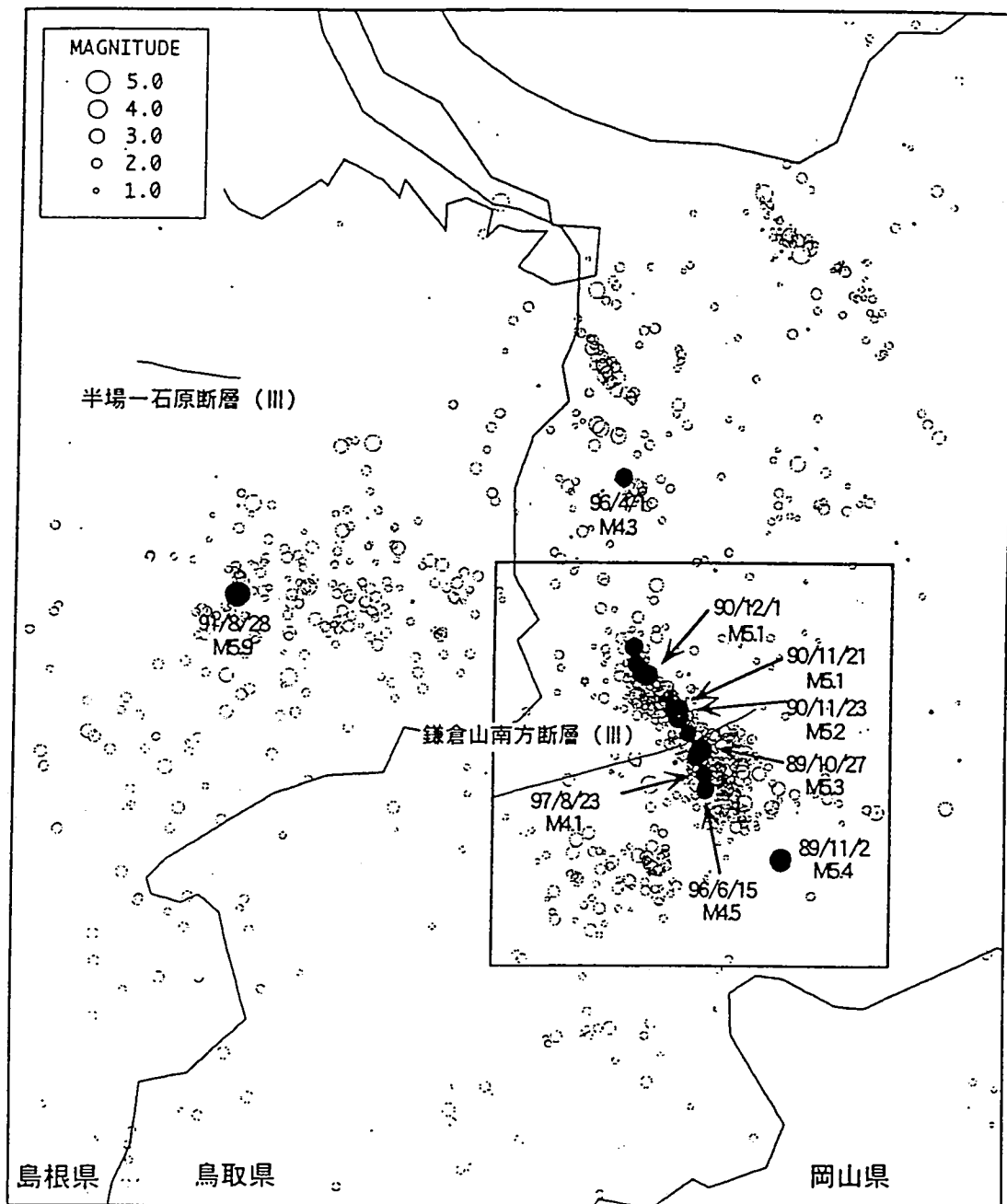


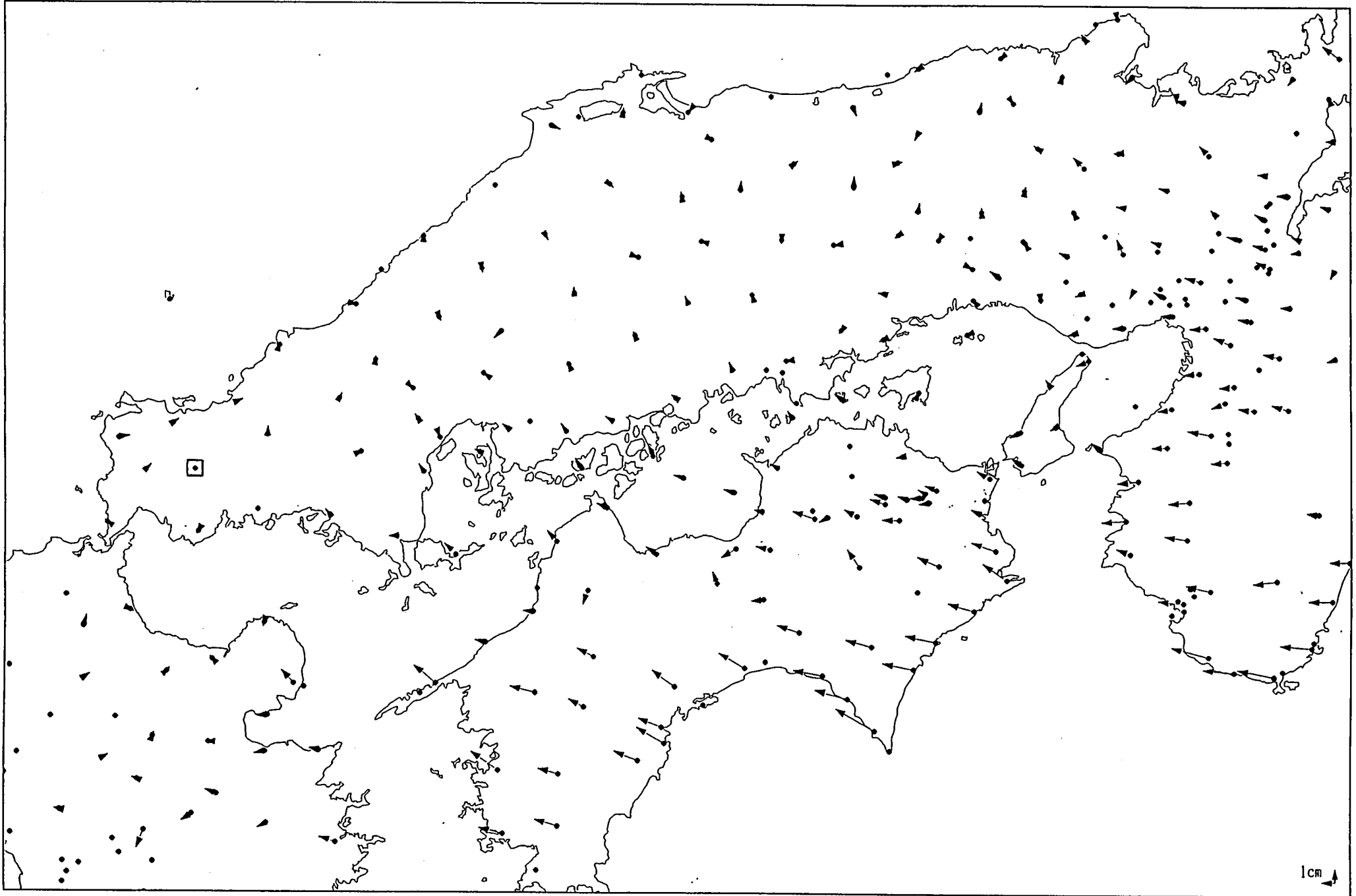
図1 : M4以上の地震 (黒丸) とバックグラウンドの活動 (グレーの白丸)
 期間 : 1980年1月1日~1997年8月27日
 マグニチュード : 1.0~9.0
 深さ : 0~20km

京都大学防災研究所資料
 (平成9年10月8日地震調査委員会資料)

比較手法 : 平均値
基準データ: 2000年 1月 1日 ~ 2000年 1月15日
比較データ: 2000年 9月15日 ~ 2000年 9月19日

ベクトル図(水平)

固定局: 950411



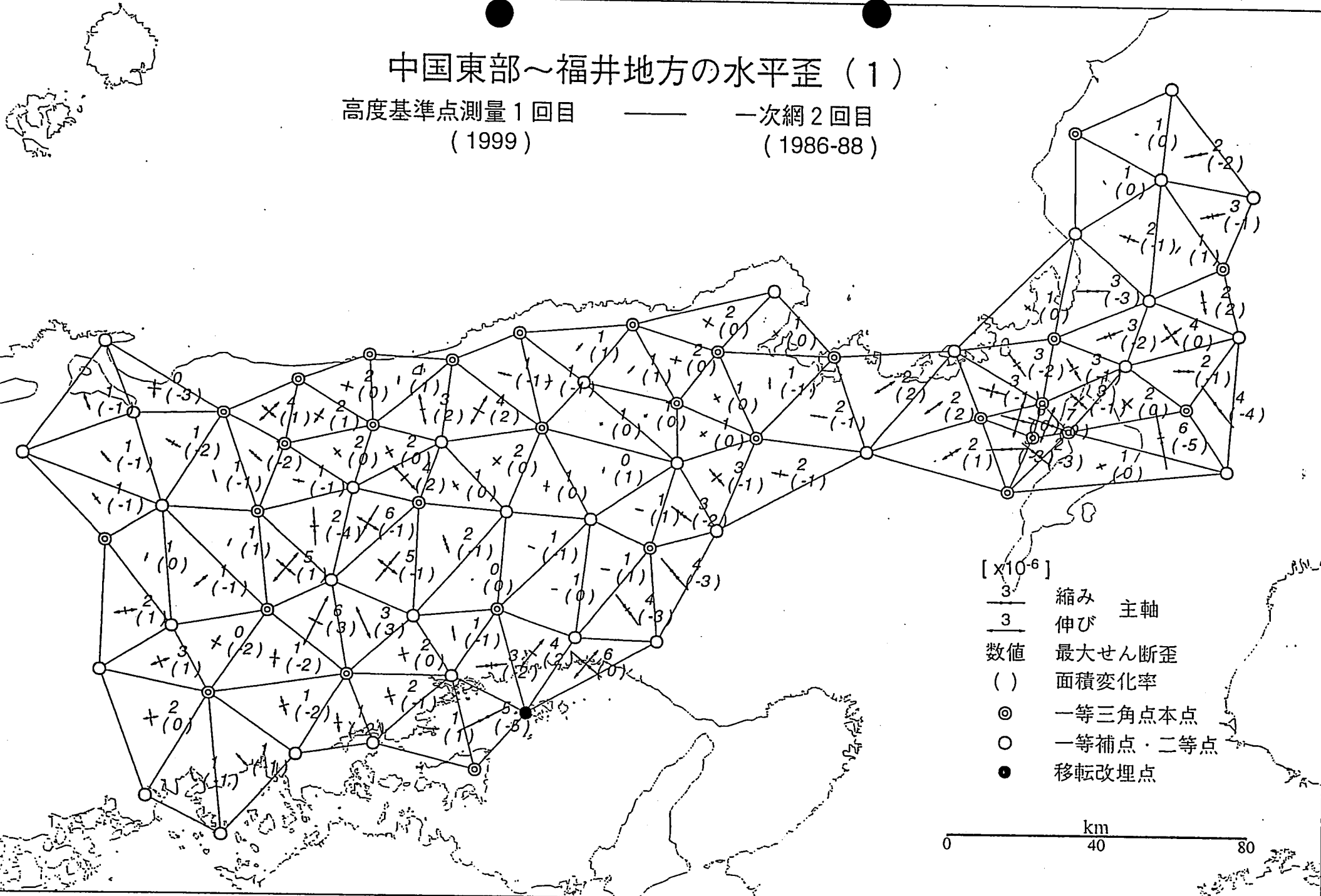
黒: Bernese[IGS]

建設省国土地理院

中国東部～福井地方の水平歪 (1)

高度基準点測量 1 回目
(1999)

—— 一次網 2 回目
(1986-88)



- [$\times 10^{-6}$]
- $\frac{3}{3}$ 縮み 主軸
 - $\frac{3}{3}$ 伸び 主軸
 - 数値 最大せん断歪
 - () 面積変化率
 - ⊙ 一等三角点本点
 - 一等補点・二等点
 - 移転改埋点

0 40 80 km